



2018年6月1日(金)

# 小栗キャップの News Letter

税理士法人オグリ 代表社員・税理士 小栗 悟

岐阜本部 〒500-8847 岐阜県岐阜市金宝町1-3 岐阜第一生命ビル 4F

TEL : 058-264-8858 FAX : 058-264-8708

名古屋本部 〒460-0002 名古屋市中区丸の内一丁目16-15 名古屋フコク生命ビル 6F

TEL : 052-222-1600 FAX : 052-222-1611

Email : [info@otc-oguri.com](mailto:info@otc-oguri.com) <http://www.otc-oguri.com>

## ミドルの連結ピン機能

「連結ピン」とは、企業組織をトップ・ミドル・ローと三階層に区分したとき、ミドルに求められるトップとロー（下層）を繋ぐ機能を指します。

### 「連結ピン」の機能

ミドルはトップの意図を所管組織の役割・担当業務に即して、具体的に翻訳してローに伝えるとともに、その挑戦意欲を引き出す上意下達を図らなければなりません。また、ローが現場で得た問題意識、経営貢献意識を、トップへ繋ぐ下意上達の要とならなくてはなりません。

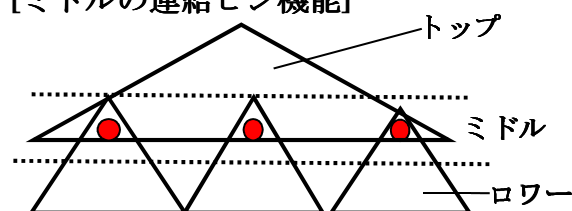
すなわち、ミドルにはトップとローを繋ぐ「連結ピン」の機能を果たすことによって、組織の潤滑油となることが求められているのです。

### 「連結ピン」機能に対する障害

1990年代以降、「ITの普及に伴って、意思伝達のトップダウンあるいはボトムアップを迅速化し、激変する経営環境に即応するため、ミドルを排し、組織のフラット化を図ろう。」とする風潮が一部に広がりました。しかし、今日では、トップの意図をミドルが所管業務に即してブレークダウンし、ローの挑戦意欲を引き出すことなく、経営組織が生き生きと活動することは出来な

いとする連結ピン機能が再評価されました。

### 【ミドルの連結ピン機能】



### 経営者・管理者の留意点

目標管理の運用プロセス全般を通じて、ミドルの「連結ピン機能」の発揮は不可欠です。すなわち、目標設定で、経営計画・目標を組織目標・個別目標へカスケードダウンする場合、達成プロセスでは、目標達成の阻害要因を排除する問題解決を行う場合、経営貢献度評価では、経営目標と部門の組織目標・担当者の目標の達成度・経営貢献度を整合性をもって評価する場合等、全ての運用場面で、「連結ピン機能」を生かさなければ、適切な運用は不可能と言えますでしょう。

トップは、ミドルが「連結ピン機能」を十分に果たし、トップの意図をそれぞれの組織へ順次咀嚼して伝え、現場の生きた情報をくみ上げてトップへ繋ぐよう、常に要請し、動機づけましょう。



ミドルの連結ピン機能は不可欠だ！